



『ヘビのひみつ』  
文・写真：内山りゅう  
出版社：ポプラ社

# 大好き！絵本

初瀬 恵美



今年もあとわずかとなりましたね。みなさんにとっては、どんな一年だったでしょうか？私は韓国ドラマや推し活から、韓国にハマった一年でした(笑)最近、韓国語も習い始め、少しでも韓国語が聞き取れたり、話せるようになることを楽しみに勉強しています♪

先日、韓国人の推しのトークを聞いていると「来年の干支はヘビだから～」という話がありました。「あら、日本と同じ！そもそも干支を使っている国はどれくらいあるのだろうか？」と不思議に思い調べてみました。すると中国の影響を受けた、東アジアの国は、干支を使用している国が多いことが分かりました。韓国と日本では、干支の順番も同じですが、最後が亥(いのしい)ではなく、中国と同じ「豚」だそうです。

さて、干支の話で前置きが長くなりましたが、来年の干支は「巳(ヘビ)」ということで、ヘビにちなみ、今回は『ヘビの秘密』という、写真絵本を紹介したいと思います。

写真絵本というだけあり、大きく好み分けられる絵本ではありますが、できるだけいろいろなジャンルを紹介したいので、あえてご紹介させていただきます！…でも実は私も蛇は嫌いですが(笑)。100歩譲って、「生物」というジャンルは好きなので、その扉を開けてみました。すると自分の知らないことが、たくさん載っていたので、「気持ち悪い」と思いつつも、ついついその世界観にひきこまれてしまいました。

たとえば、「ヘビの めが しろくなるのは、かわが むけはじめる あいず。」このフレーズだけで、もうひきこまれてしまいました。昔は「ヘビの抜け殻を、お財布に入れておくとお金持ちになる」というジンクスがあり、遊びながらヘビの抜け殻探しをよくしていたことを思い出しました。ヘビを見かけるのは日常茶飯事で、私の弟は、下校途中にヘビを捕まえて、首から下げて帰ってくるほどでした。そんなによく目にするヘビも、私自身は、出くわすと怖いので、すぐに逃げてしまい、じっくり観察することはありませんでした。(大半の方がそうだと思います)なので、この絵本の解説は、とても新鮮でおもしろさにあふれています。

手も、足もないヘビが、どうやって獲物を捕まえたり、木に登ったり、泳いだりするのか、目や耳や舌の役割はどんなふうになっているのかなどなど、リアルな瞬間をとらえた写真満載で教えてくれる絵本です。

いろいろな「ヘビのひみつ」がありましたが、私が一番驚いたことは「ヘビのおしっこ  
のひみつ」です。「おしっこ」なんて、どんな生物も、液体とと思っていましたが、なんとヘビは違ったのです。「ヘビのおしっこはそとへでると しろく かたまる。チョコミ  
たいに じが かけるよ。」(右の写真)不思議ですね。そんな生き物もいるなんて、初めて知りました。

ネイチャー・フォトグラファーの内山さんが届けてくれる、『ヘビのひみつ』ヘビ好きの人、生物が好きな人は、ぜひご覧になられてみてください。

